

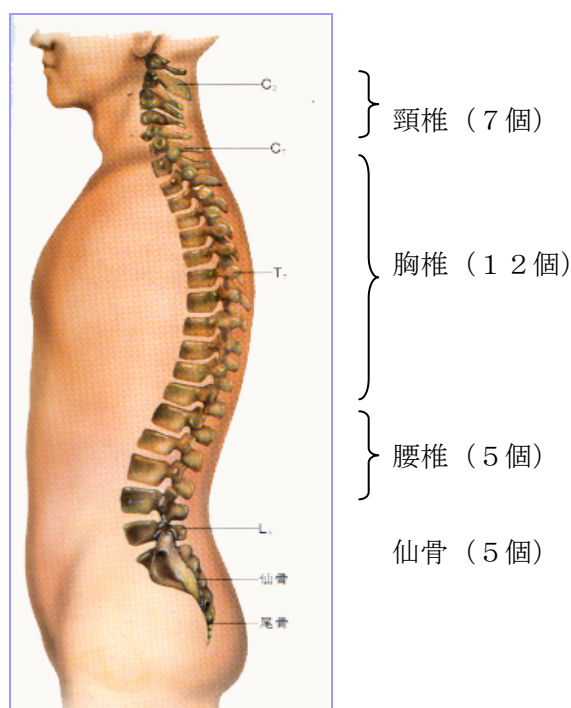
脊椎（せぼね）について

私達は脊椎脊髄外科と呼ばれていますが、脊椎と脊髄は実は違うんです。どんなふうに違うかという、脊椎というのは、背骨そのもの。骨のことを意味しています。頸椎といわれる首の骨から仙骨、尾骨のところまでですね。ここまで連なる背骨を脊椎と呼んでいます。

頸椎は7つ。これが人によって、8つだったり6つだったりということはないですね。哺乳類は殆ど7つです。キリンのように首が長くても7つなんです。

胸椎は12個。胸椎には肋骨がついています。腰椎は5個。腰骨は、人によって4個だったり、6個だったりすることがあります。5個の人が80%。6個の人が15%。4個の人が5%くらいですね。これで訴訟になることが起こるかどうかわかりませんが、数が違うと、神経のレベルが一つ違ったりするということがあるんですね。僕たちは、手術するときに、一つレベルが違うかどうかというのを常に確認します。

腰椎は5個です。これが4個だったり6個だったりするのは、その下の仙骨が、本来は5個の骨がくっついて一つの骨になっているのですが、これが、4個がくっついて仙骨を作っている場合、腰椎が形の上で6個に見えたりするというだけの話で、実際の全体の数はバランスがとれているだろうというふうに思います。



脊椎というのは背骨のことをいっていると言いましたけども、もうちょっと詳しく見ると、脊椎の他に、柱と書いて、脊柱という言葉と、椎骨という言葉があります。この一つ一つのブロックを椎骨と呼んでいます。椎骨が一つ一つ連なって、このように柱の

ようになったものを脊柱といいます。背骨そのものが脊柱です。脊椎といった場合には、どちらを指すかは、そのケースによって違っていて、脊柱を指すこともあるし、椎骨を指すこともあります。

脊椎 { 脊柱 = 「背骨」 (せぼね)
椎骨 = 一つ一つのブロック

背骨の主な働きというのは、体を支えること【①支持】。それから、単なる棒であれば体は動かないのですが、体を曲げたり伸ばしたりということです。ずいぶん昔になりますけども、荒川静香さんのイナバウアーのような体が柔らかい動きができるのも、背骨一つ一つが動くからですね。運動という働きです【②運動】。それから、これは忘れやすいのですが、この中に神経が通っています。その神経を守るというこの3つの大きな働きがあります【③保護】。

脊椎の働き ①支持 (体を支える)
②運動 (体を動かす)
③保護 (神経を護る)